

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	自然エネルギーを学ぶ (太陽と風と水)
事業主体 (連絡先)	庄内盛々会 会長 大嶋 健資
事業区分	自然エネルギーの普及・拡大
事業タイプ	ソフト
総事業費	455,319 円 (うち支援金: 337,000 円)

事業内容

- 1 体験イベント (気球に乗ろう)
 - 育成会子ども: 206名... ライフ: 11名
 - 東日本大震災での避難家族: 5家族 43名
- 2 実験イベント (自然エネルギーを学ぶ)
 - ①太陽光発電 ②備長炭発電 ③風力発電
 - ④ペルチェ素子による発電
 - ⑤バイオエネルギー実験
- 3 たたら製鉄 (参加者 約60名)
 - 砂鉄から鉄を作ってナイフを作ろう



※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

昨年引き続き、体験イベントとして『気球に乗ろう』を実施した。乗船後のアンケートの結果では、約96%の乗船者が、楽しかったので、また乗りたいとの意見であった。

実験イベントは、各実験コーナーは、常に子ども達で溢れており、発電の仕組みや体験をして自然エネルギーについて学んでいた。

たたら製鉄は、砂鉄から玉鋼までの製作はできたが、鉄の純度を高める方法がうまくいかなかった。

- 【目標・ねらい】
- 空より地域を再認識する
 - 自然エネルギーの有効利用
 - 発電の仕組みを学ぶ
 - バイオエネルギー実験
 - たたら製鉄

※2 自己評価 (事業効果) 【 A 】

今後の取り組み

子ども達が、太陽光発電風力発電や備長炭等の実験に取り組んでいる姿は、興味深く楽しそうであった。私達が考えていたより事業効果があったと思う。

また、体験イベントの気球乗船については、アンケートでも良かったとの意見が多く出され、もう一度乗りたいとの意見が多かった。

たたら製鉄は、河川での砂鉄採りから玉鋼づくりまではうまくいったが、鉄の純度を高める方法が見つからず、今後の課題となった。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。
 ※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある